

## 1 計画の位置付け

第2次みよし市総合計画では、基本目標1として「安心して子どもが産み育て、誰もが豊かな心を育むまち」、取組方針3として「文化に親しみ、交流が盛んなまちにしよう」をスローガンとしており、市民ニーズに対応した生涯学習講座の充実や地域文化・芸術の担い手の育成、歴史資源の保存などを行うことを定めています。

さらに、みよし市教育振興基本計画では、「生涯にわたって学び続ける市民を応援する」の中で、生涯学習環境整備と文化活動を活性化することを施策体系に設定し、他の計画と連携して取り組むことを定めています。

## 2 これまでの取り組み

平成13年度に生涯学習推進基本計画を策定し、「ふれあい・学びあい・支えあい そして響きあう 生涯学習」を基本理念に、悠学カレッジを中心として教養、文化、スポーツなど各種の事業を推進してきました。平成24年3月に改訂した第2次計画では、市民一人一人が生きがいや楽しさを感じることができ、市民自らが主体となって生涯学習を推進していくことを目指して施策を進めてきました。

この第2次計画における最大の成果として、図書館学習交流プラザ「サンライブ」の開館が挙げられます。サンライブは平成28年7月、生涯学習機能と図書館機能を融合した複合施設として、子どもから高齢者まで、誰もが自由に学ぶことができ、市民の交流や自主活動の場として、年間33万を超える人が利用しています。サンライブでは、市が主催する生涯学習講座や図書館講座などの各種講座を開催するとともに、みよし市文化協会の拠点として文化・芸術に親しむ場所としても活用されています。

## 3 生涯学習を取り巻く現状と課題

### 【社会情勢の変化】

- ◆ライフスタイルの多様化、新しい生活様式
- ◆持続可能な社会への移行
- ◆少子高齢化の進行、人生100年時代の到来
- ◆デジタル社会の進展

### 【国や県の動向】

- ◆社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」という理念
- ◆誰もが、障がいの有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して
- ◆基本理念「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」
- ◆長寿化が進む中で「人生100年時代」を見据えた生涯学習の推進

## 4 基本構想

### 【基本理念】

「学びあい ふれあい 支えあい 人と人がつながる 生涯学習」を基本理念として、義務教育を終えた後も、生涯にわたって学び続ける市民を応援し、市民の生涯学習を幅広く支援し、人と人のつながりを生み出すため、生涯学習施策を推進する。

## 5 主な施策（4つの基本目標）

### ①学びをはじめするための支援

- ・学びのきっかけづくり（学習の楽しさを伝える場の提供、様々な機会を生かした啓発活動）
  - 【新規】講座・文化芸術・スポーツサークル活動等の開催情報一元化、見学や体験会の開催、学校・地域・団体との連携
  - 【継続】生涯学習講座・読書啓発事業の開催、市による学習活動の促進
- ・学習内容の充実（学習経験に応じた学習プログラムの提供）
  - 【新規】国や県による生涯学習活動の活用
  - 【継続】就業者向け夜間・休日講座、障がい者向け講座、高齢者向け講座の開催
- ・誰もが学べる場所の提供（いつでも、誰でも参加できる支援）
  - 【新規】地区拠点施設や公民館等での講座開催

### ②学びを深め、交流する機会の充実

- ・ライフステージに応じた学習機会の提供（学習内容の連携と体系化）
  - 【新規】サンライブと各公共施設の連携
- ・市民による生涯学習の促進（活動場所の紹介と活動の成果を発表する機会づくり）
  - 【新規】生涯学習関連施設の情報提供
  - 【継続】生涯学習発表会の開催、各公共施設での作品展示

### ③学びを生かす場や機会の充実

- ・指導者・リーダーの育成と活用（指導者とリーダーの交流会や研修会の実施）
  - 【新規】地域や学校などへの講師紹介、文化協会や地域スポーツクラブとの連携
  - 【継続】市民人材バンクの活用
- ・循環型生涯学習システムの構築（学んだことを生かす仕組みの創出）
  - 【新規】ボランティアの育成と活動場所の検討

### ④学びの土台の整備

- ・積極的な情報提供と相談体制の充実（インターネットを活用した情報提供）
  - 【新規】インターネットの活用、生涯学習相談窓口の充実
- ・総合的な推進体制の整備（団体の連携体制の強化、生涯学習に対する庁内職員による啓発）
  - 【新規】生涯学習推進課を主体とした各種団体との連携強化